

揖斐特別支援学校との共同学習

6月27日（月）に、揖斐特別支援学校高等部3年生の生徒さんをお招きして、本校の3年2組の生徒とともに共同学習を行いました。当日は、揖斐特別支援学校の生徒12名と高等部主事の森先生はじめ引率の先生方がバスで本校を訪問し、音楽室と体育館の2つのグループに分かれ、1時間ごとに交代しながら、2時間目と3時間目に音楽と体育の授業を楽しみました。

授業の内容

音楽

本校の音楽科の中村美代子教諭の指導のもと、両校の生徒が、一緒にリズムゲームをしたり、ハンドベル演奏や合唱や輪唱をして楽しく授業を行いました。始めに握手して隣同士自己紹介し、先生の身振りリズムに合わせてみんなで体を動かしているうちに、緊張の面持ちが笑顔に変わってきました。最後に手をつないで輪になって歌った「すてきな友達」は、一人一人がこの授業で体全体で感じた想いを言い表したような歌詞で、一人一人の心にしみたことが合唱する笑顔を声から感じることができました。



（曲目）・「歓迎の歌」

・リズム打ち

・「揖斐特別支援学校校歌」

「海の声」

「カントリーロード」「雨ノチ晴レルヤ」

・クオロリベット「海」と「ぞうさん」

「たなばたさま」と「茶摘」と「どんぐりころころ」

・「すてきな友達」

(授業者のコメント) 中村 美代子 教諭

共同学習では、音楽を通じて認め合うことの大切さ、音楽を共有しともに自己表現する喜びを味わうことを目標にしました。今回はハンドベルと歌を通して交流しました。終始和やかな雰囲気、コミュニケーションをとることができました。生徒たちは自ら意欲的に活動し、達成感を味わうことができました。

(生徒の感想)

3年2組 新井 彪我 さん

「とても楽しかった」というのが素直な感想です。一緒に歌いアンサンブルすることで、音楽の面白さを再認識し、交流することの大切さを感じました。そしてとても素直になれた自分に気づきました。また一緒に歌いたいです！

3年2組 杉岡 真帆 さん

私は、始まる前はどんな授業になるのか全く予想がつかなかったけれど、始めてみると、最初から最後まで笑顔いっぱいの時間で、とても貴重な経験をさせていただきました。特別支援学校の方ということで、どうやって関わったらよいか少し不安だったけれど、少しでも元気をあげられたらいいなと思っていました。でも、私たちよりも歌うことや楽器演奏が本当に好きで楽しんでいる気持ちが伝わってきて、私たちが逆に元気をもらいました。最後にみんなで手をつないで『すてきな友達』を歌った時は、1時間という短い時間を感じさせないくらい、1つになれた感じがして、とっても楽しかったです。

体 育

本校の体育科の福井教諭と市川教諭の指導のもと、浅野教諭、福島教諭、菱田教諭にも協力してもらい、2時間目はエアボール、3時間目はフライングディスクを使い、体育の授業を楽しみました。それぞれ導入では、じゃんけんムカデゲームをして、この日のために手作りした自分の名前札で、名前を確かめ合いながら、授業が終わる頃には、お互いに打ち解けた雰囲気、声かけ合って楽しむ姿が見られました。



(授業者のコメント) 福井 崇 教諭

今回の交流では、互いに協力し相手を思いやるなかで、楽しく活動することができたと思います。普段交流する機会が少ないだけに、「障がい」というものを理解するよい学びの場となったと思います。これからも積極的に交流していけたらと思います。

(生徒の感想) 3年2組 小森 基貴 さん

僕は、今まであまり障がいのある人たちと接したことがなかったので、どのように接していいかわからなくて少し不安でした。でも実際はとても楽しく、風船バレーやフライングディスクを行うことができました。その中で「障がい」についての考えががらりと変わり、とても有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

揖斐特別支援学校の生徒のみなさんとあつという間と信じられたほどの、楽しい時間を過ごすことができたことに感謝しています！

～本校では、ESDを推進し、一人一人の夢を実現するための学びを進めています～